

土木学会認定CPDプログラム

土木学会 平成29年度全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2017 Annual Meeting

大会テーマ

土木の将来と国際化 ～世界的課題への挑戦、世界に通じるDOBOKUへ～

日時：平成29年9月11日（月）～13日（水）

会場：九州大学伊都キャンパス、アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
（特別講演会・全体討論会）、ソラリアプラザ1F イベントスペース・
ゼファ（パネル展示）、ソラリア西鉄ホテル（交流会）

主催：公益社団法人 土木学会

共催：九州大学

全国大会情報

<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>

本附録の掲載情報は、2017年5月18日現在のものです。
掲載情報が変更になっている場合もございますので、ホームページも合わせてご確認ください。

QRコード



土木学会誌7月号付録「全国大会案内」

日時：平成29年9月11日(月)～13日(水)

会場：九州大学伊都キャンパス、アクロス福岡 福岡シンフォニーホール(特別講演会・全体討論会)、ソラリアプラザ1F イベントスペース・ゼファ(パネル展示)、ソラリア西鉄ホテル(交流会)

大会テーマ「土木の将来と国際化

～世界的課題への挑戦、世界に通じるDOBOKUへ～

■ CONTENTS

◆ 挨拶 土木学会平成29年度全国大会を迎えて

◆ 講演会・討論会概要、講師紹介

・基調講演会—会長講演	iv
・特別講演会	v
・全体討論会	vii

◆ 全国大会会場案内・大会行事

・会場所在地・アクセス	viii
・九州大学伊都キャンパス会場図	x
・大会スケジュール	xi
・行事案内	
(1) 基調講演会	xi
(2) 特別講演会	xii
(3) 全体討論会	xii
(4) 第72回年次学術講演会	xii
(5) 研究討論会	xiii
(6) 交流会	xiii
(7) International Programs(国際関連行事)	xiii
(8) 映画会	xiv
(9) パネル展示	xv
(10) 見学会	xv
(11) アンサンブルシヴィル演奏	xvi
・一時保育のご紹介	xvi
・九州大学伊都キャンパス会場でのインターネット接続	xvi

◆ 年次学術講演会講演要領

・講演会発表の進め方	xvi
・ウィルス対策について	xviii
・土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について	xix

◆ 申込みについて

・事前登録参加申込み	xx
・第72回年次学術講演会DVD-ROM版概要集の一般申込み	xxi
・交流会への参加申込み	xxii
・見学会への参加申込み	xxii

挨拶 土木学会平成29年度全国大会を迎えて

「土木の将来と国際化 ～世界的課題への挑戦、世界に通じるDOBOKUへ～」



小平田 浩司 KOHIRATA Koji
平成29年度土木学会全国大会実行委員長
国土交通省九州地方整備局長

土木学会平成29年度全国大会は、9月11日（月）から13日（水）の3日間、福岡市にある九州大学伊都キャンパスを会場として開催いたします。

九州での全国大会の開催は、平成21（2009）年に福岡大学で開催して以来8年ぶりとなります。

大会会場となる九州大学伊都キャンパスは、福岡市の西部に位置し、福岡市中心部から地下鉄とバスで50分という距離にあり、脊振山麓北側、糸島半島の緑と水に囲まれた豊かな自然環境の中にあります。

また、九州大学は、明治12（1879）年に県立福岡医学校として開設され、明治44（1911）年には、東京、京都、東北に次ぐ第4番目の帝国大学として創設されました。今年で創立106年を迎える九州大学は、現在、11学部と18学府を擁し、学生数も1万8千人を超えるなど、国内有数の総合大学として発展を続けています。

昨年を振り返ると、九州では非常に災害が多い年でした。特に、4月14日、16日の2度にわたり震度7を記録した熊本地震は未曾有の大災害となりました。九州地方整備局として、また、関係者の方々の力をお借りして、全力で復旧・復興に取り組んでいるところです。かつて、数年前、コンクリートから人へという流れがあり、東日本大震災が起こり、未曾有の大災害が発生して初めてコンクリートが大事だということが再認識されています。災害があつて初めて土木が見直されるということは非常に悲しいことですが、それが現実となっています。阪神・淡路大震災、東日本大

震災、熊本地震が風化しないよう、やはり、広く産学官の関係者で声を上げていく必要があると思います。

土木の範囲は河川・道路・港湾・空港・上下水道・鉄道・電力など幅広く、人々の安全・安心と豊かな暮らしは、これらの社会資本の上に成り立っています。

今、我が国は急激な高齢化、人口減少、財政状況の悪化など、多くの課題に取り組んでいます。我が国の未来が安全・安心で活力あるものでありつづけるためには、未だに不十分な交通、防災、エネルギーといった生活を支える社会基盤の整備や維持管理を、多くの課題を克服しつつ進めてゆかねばなりません。

国際社会においては、地球規模での気候変動による大災害への対応、中国、ロシア、インド、ブラジル、ベトナム等の新興国のめざましい発展の中での急速かつ大規模な社会資本整備の進展など、土木に関わるウエイトは益々大きくなっています。

このような状況において、日本の若者が世界のフィールドで活躍し、各国の技術者との有意義な技術的、学術的交流を持って、日本の土木技術の更なる向上に寄与することを大いに期待しています。

本大会が開催される福岡都市圏は、古来から大陸への玄関口として栄え、中でも博多は平安時代から室町時代にかけて商都として栄えました。日本における国際都市の先駆けであり、今回の大会テーマである「土木の将来と国際

化」にまさに合致する地域と言えます。

主な大会行事としては、学術講演会、研究討論会、基調講演会、特別講演会、全体討論会、パネル展示、国際関連行事を予定しています。パネル展示では、大会に参加する研究者、技術者だけでなく、市民の方々にも興味を持ってご覧いただけるよう、大会テーマに沿った幅広い視点から、土木のことを理解してもらえよう内容にしたいと

考えております。

本大会は、土木学会の7つの研究部門が一堂に会する唯一の機会として、学会の最大かつ最重要行事でもあります。全国から一人でも多くの学会員に参加していただき、皆様の学術・技術の研鑽を積むとともに会員相互の交流、情報交換などを通じて、実り多い大会になりますことを祈念しまして、挨拶いたします。

講演会・討論会概要、講師紹介

■ 基調講演会 — 会長講演

9月12日 (火) 13:50 ~ 14:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール



第105代土木学会会長

大石久和 OHISHI Hisakazu

一般社団法人 全日本建設技術協会 会長

学会歴

昭和42年 5月 土木学会入会
 平成 6年 11月 フェロー会員
 平成24年 6月 土木広報アクションプラン小委員会
 委員長
 平成26年 6月 土木広報戦略委員会 副委員長
 平成27年 3月 名誉会員
 平成28年 6月 次期会長
 平成29年 6月 会長

学歴・職歴

昭和45年 3月 京都大学大学院工学研究科修士課程 修了
 昭和45年 4月 建設省入省
 平成 5年 4月 国土庁計画・調整局総合交通課長
 平成 7年 6月 建設省道路局道路環境課長
 平成 8年 7月 建設省大臣官房技術審議官
 平成11年 7月 建設省道路局長
 平成14年 7月 国土交通省技監
 平成16年 7月 財団法人国土技術研究センター理事長
 平成25年 6月 一般財団法人国土技術研究センター-国土政策研究所長
 平成28年 6月 一般社団法人全日本建設技術協会会長

講演題目：土木の「領域」を再考し、主張ある土木を構築しよう

全国の「土木人」は、学問的な研究をはじめ、行政・教育・調査設計・工事・国土や公物の管理などに至るあらゆる分野で、その水準の向上のために懸命の努力を続けている。

その成果は、多くの人々が負担する税（公債を含む）や料金を原資とする資金で実施される主としてインフラ整備（鉄道・電力などの設備投資を含む）に反映されている。これらは、広い意味で公共が提供する「公共の安全と繁栄」の

ためのツールとなっている。

ところが先進各国のインフラ投資の経年変化をみると、この20年で半減させてきた国は唯一わが国だけなのである。他のすべての先進国は、イギリスは約3倍、アメリカは約2倍などとインフラ投資を伸ばして来たのである。

つまり、土木における大学の研究成果も民間企業などの努力の結晶も、国民へ還元という意味では年々その量を減

少させ、ついには半減した。増加させてきた各国首脳は、「インフラ整備が自国の経済を成長させ、経済競争力を向上させる」と繰り返し述べている。

一方、インフラの整備水準は、インフラ投資が減少したこともあって先進各国と比して貧弱な水準に止まっており、国民の生活安全性や移動効率などは大きく劣後しているのである。こうしたことの影響もあって、わが国は世界のなかで唯一、まったくと言っていいほど経済成長しない国となってしまった。

そこで、ここでのメッセージは、こうした技術の発展の追求だけではない幅の広い土木の全体環境は「われわれが関心を寄せるべき領域である」という認識の獲得である。

国土環境の変化から人々の暮らしを守る

土木を「偉大な自然の営みのなかで人間の活動領域を確保するための知的生産のすべて」と考えると、近年の世界的な「自然・気象の凶暴化」とでもいうべき現象の多発は、かつて構築した「人々の生命財産を守るための土木の活動領域（フロント）」の拡大・再構築をわれわれ土木に突きつけている。

他国に比べその状況がわが国ではより厳しくなっているのは、土木が守るべき人々の高齢化であり地域の壮年人口の減少である。自然が厳しくなる一方で、「助ける人が減り、助けなければならない人が増える」のである。

自助・共助・公助のどれもが厳しい方向に変化しており、今後さらにその傾向が増す。さらに他の先進国では地震が少ないが、わが国では地震が多発しそれも活動期に入ったといわれる厳しさがある。自然と向き合う「フロントの再構

築」は喫緊の課題である。

インテリジェントな「国土と公共公物」を形成する

法面は大雨によっても簡単に崩壊しないように対策する必要があるし、橋梁は落下がないように丁寧に管理しなければならない。しかし、崩壊や落下といった万が一の時でも、「人の命は落とさない」ことこそが究極の目標だ。

これを可能とする管理・保全を行うためには、驚異的に発達してきた人工知能とそれに情報を与える状態管理センサーなどの組み合わせが不可欠である。「国土が頭脳を持つ、公共公物が知能を持つ」というインテリジェントな国土と公共公物の環境整備は、不可避な今後の方向であると考ええる。土木はAIが最も活躍する分野なのである。

土木は他領域のすべての研究成果を最も貪欲に取り込む分野でありたいのである。

主張ある土木を構築する

国土に働きかけ、国土からの恵み（安全に暮らせる国土、効率的に生産・消費ができ、快適に暮らせる持続可能な国土）を得るための領域を土木と考えると、ここに土木としての「公への奉仕という哲学」をもった主張が存在する必然がある。

- 「社会全体のベストパフォーマンスの実現」を目指す他の存在がない状況のもとで…
- 公共経済学がフランスの土木集団から生まれたように…
- 土地を利用することで成り立つ土木が、土地に関する諸制度や国民の土地所有意識に無関心であってはならないように…

■ 特別講演1

9月12日(火) 14:45 ~ 15:45 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール



栗田 啓子 KURITA Keiko
東京女子大学 教授

略歴

1951年生まれ、東京都出身、経済学博士（パリ第一大学）。1974年東京女子大学文理学部卒業、1979年よりフランス政府給費留学生としてパリ第一大学に留学、1984年早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了。同年小樽商科大学商学部講師。同助教授、教授を経て、1994年より東京女

子大学教授。専門はフランス経済思想史。主著は『エンジニア・エコノミストーフランス公共経済学の成立』（東京大学出版会）、共編著に『経済政策思想史』（有斐閣）、『日本における女性と経済学』（北海道大学出版会）などがある。

講演題目：ともに生きるための公共事業 —フレンチ・エンジニアの「社会経済」思想

どのような公共事業が望ましいのだろうか？この問いに答えるために、フランスの土木エンジニアたちは19世紀前半にすでに費用便益分析の開発に着手していた。工事の効用を客観的な数値で示す指標を求めて、彼らは経済学の領域に足を踏み入れたのである。こうして、経済学と土木事業が結びつき、エンジニア・エコノミストが誕生した。もっとも、国内市場の統一や工業化の促進という目的は疑いようもなく、彼らにとっての課題はそれぞれの事業の正当性の証明にあったことに注意を促しておきたい。

しかし、19世紀も半ばを過ぎ、経済発展の陰の部分が現れてくるにつれて、なんのために公共事業を行うのかという問いがエンジニア・エコノミストに突きつけられるようになる。労働災害や失業による労働者の貧困問題、過剰な開発による環境問題などの社会問題に対応する必要性が生

じたのである。

このような状況のなかで、社会問題に答えられる経済学をめざし、市場と国家(政府)をつなぐ経済活動を志向する「社会経済」(économie sociale)という新たな経済学の領域を開いたのは、鉱山エンジニアのフレデリック・ル＝プレ(Frédéric Le Play, 1806-1882)だった。ル＝プレはナポレオン3世が厚い信頼を寄せた技術官僚であり、彼の周りには多くの土木エンジニアも集まり、エンジニアの社会的責任を論じていた。

本講演では、ル＝プレの一番弟子と言われる土木エンジニアのエミール・シェイソン(Emile Cheysson, 1836-1910)を主に取り上げ、公共事業における理念の問題を考えてみることにしたい。なんのために公共事業なのか、という問いかけは、現代でも必要な問いだと思うからである。

■ 特別講演 2

9月12日(火) 17:50 ~ 18:20 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール



麻生 泰 ASO Yutaka
一般社団法人九州経済連合会 会長

略歴

1946年生まれ。1969年慶應義塾大学法学部法律学科卒業、1972年オックスフォード大学ニューカレッジ卒業。株式会社大沢商会を経て1975年麻生セメント株式会社監査役、1979年取締役社長、2001年代表取締役社長、2016年代表取締役会長に就任し現在に至る。(社)九州・山口経済連

合会(現(一社)九州経済連合会)理事、同国際委員長などを歴任し、2013年(一社)九州経済連合会会長に就任。

講演題目：九州から日本を動かす！

九経連では、「農林水産業の輸出拡大」、「観光の基幹産業化」を主要課題に掲げ、積極的に取り組んでいます。農林水産業では、九経連主導で農産物の輸出商社を作り、香港への輸出を始めました。今後はシンガポールへの輸出を計画しています。農家の手取り収入が増えることで、次世代が家業や地元に戻って来るようになることを目指しています。観光産業においては、増加する訪日外国人観光客の

消費額をいかに増やしていくかが課題です。これらを稼げる産業にして、地方としての尖がりを見せるためには、何よりも空港・港湾・道路といったインフラの整備・充実が必要不可欠です。シームレス交通によるアクセスの向上を図り、災害に強い強じんな国土を作ることで、安心・安全を確保し、物流を活発化させ、より多くの観光客を呼び込むことができます。一方でインフラの老朽化も進んでいま

す。「安心」という日本ブランドが崩れないよう、メンテナンスを強化することも重要な課題です。

本講演では、「九州から日本を動かす」ための取組みと、

そのためのインフラ整備の必要性を中心に述べたいと思います。

■ 全体討論会

9月12日(火) 16:05 ~ 17:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

テーマ：土木と公共、地域と世界の観点から

土木技術は長い歴史のなかで、変わりゆく社会の要請に応え、そして新たな社会を築くために、様々な技術を取り入れ、様々な人材と協働して、その活動のフロンティアを広げてきた。

世界に目を向ければ、土木工学は”Civil Engineering”であり、市民生活と密接不可分な、「公共」を担っていると認識されている。日本でも土木技術は戦国時代や幕藩体制の領国経営の根幹をなすもので、まさに「公共」を担っていた。

現在の日本において、我々は、変動する社会の課題を解決し、土木の存在意義を次世代に継承するために、従前の枠組みに囚われず公共としての土木をもう一度見つめ直す必要がある。

全体討論では、土木を活用しつつ変動する社会の要請に応えるべく活躍している方、社会に新たな価値を提供するために土木技術と他分野の協働を実践している方等に、地域そして世界の課題を踏まえて将来に向けて土木と「公共」の関係を議論していただく。

全体討論会講師の紹介：



[コーディネーター]

塚原 健一 TSUKAHARA Kenichi

九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災センター 教授

1985年九州大学工学部土木工学科卒業。旧建設省入省後、ペンシルバニア大学留学、在インドネシア大使館勤務、アジア開発銀行勤務等、若手時代は主に海外業務に従事。九州地方整備局河川調査官、リバーフロント整備センター研究第一部長を経て2008年国土交通省退職。その後国際協力機構国際協力専門員を経て2011年より現職。現在は世界各地の災害について土地利用や開発政策の観点から研究している。



[パネリスト]

米良 充典 MERA Mitsunori

宮崎県商工会議所連合会 会頭

1945年福岡県生まれ。鹿児島経済大学(現：鹿児島国際大学)経済学部卒業。日立電線(東京都)を経て米良電機産業入社。同社をはじめグループ企業の社長を務めるほか、スカイネットアジア航空(現ソラシドエア)など地元企業への支援を行ってきた。宮崎県商工会議所連合会副会頭などを経て、2010年11月から現職。現在3期目。地域経済の動きに細かく目を配り、その先頭に立って「動く宮崎」をサポートする行動派。インフラ整備の必要性についても、商工会議所の枠を超え、地方創生の視点から積極的な発言を続けている。



[パネリスト]

濱崎 隆 HAMASAKI Takashi

一般社団法人九州観光推進機構 九州観光広報センター 次長

1968年鹿児島県生まれ。1992年京都大学工学部卒業後、株式会社リクルート入社。教育関連部門・人材関連部門を経て、2009年から旅行事業部へ。海外アウトバウンド事業立ち上げ、山陰・北陸地方の宿泊関連事業を経て、2013年からじゃらんリサーチセンターにて九州での地域活性化事業に携わる。2015年からは「九州観光戦略」を中核的に展開する「官民共同の常設実行組織」である一般社団法人九州観光推進機構へ出向。九州観光広報センターにて、広報・マーケティング・戦略構築を担当。「九州観光戦略」が掲げる「観光を九州の基幹産業へ」の実現へ向け、九州のブランドイメージ構築に取り組んでいる。



[パネリスト] **村川 友美** MURAKAWA Tomomi
(株)River Village. 代表取締役

1983年長崎県生まれ。2006年九州大学21世紀プログラム課程卒業。民間企業勤務・結婚・出産を経て2012年より九州大学工学研究院流域システム工学研究室に勤務。IUターン研究に参加する。2013年「地域のための小水力発電」導入を行う調査・設計コンサルタントとして株式会社リバー・ヴィレッジを設立。2015年F-coop生活協同組合との事業組合 Seeds of Energy 設立。中山間地でのエネルギー創出のための事業形成と、都市の消費生活をエネルギーで結び付ける事業を行いながら、「地域のための小水力発電」の実現を目指す。

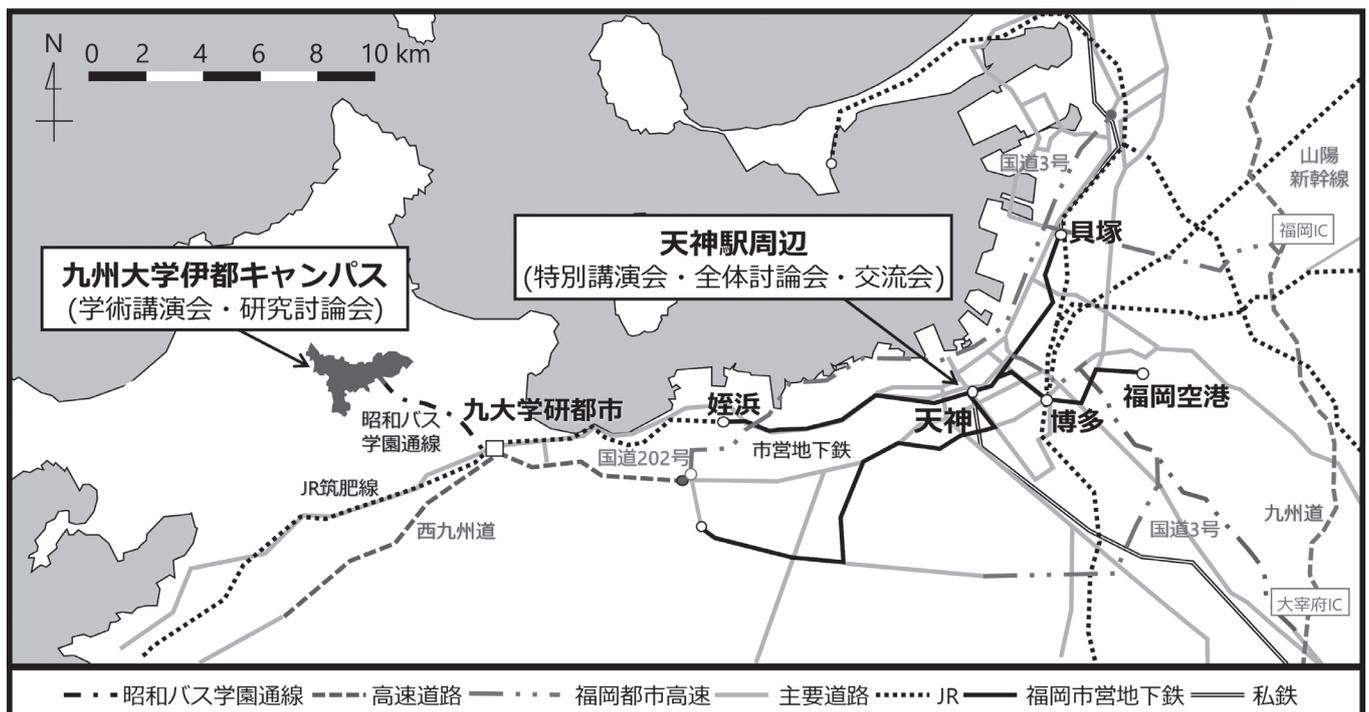


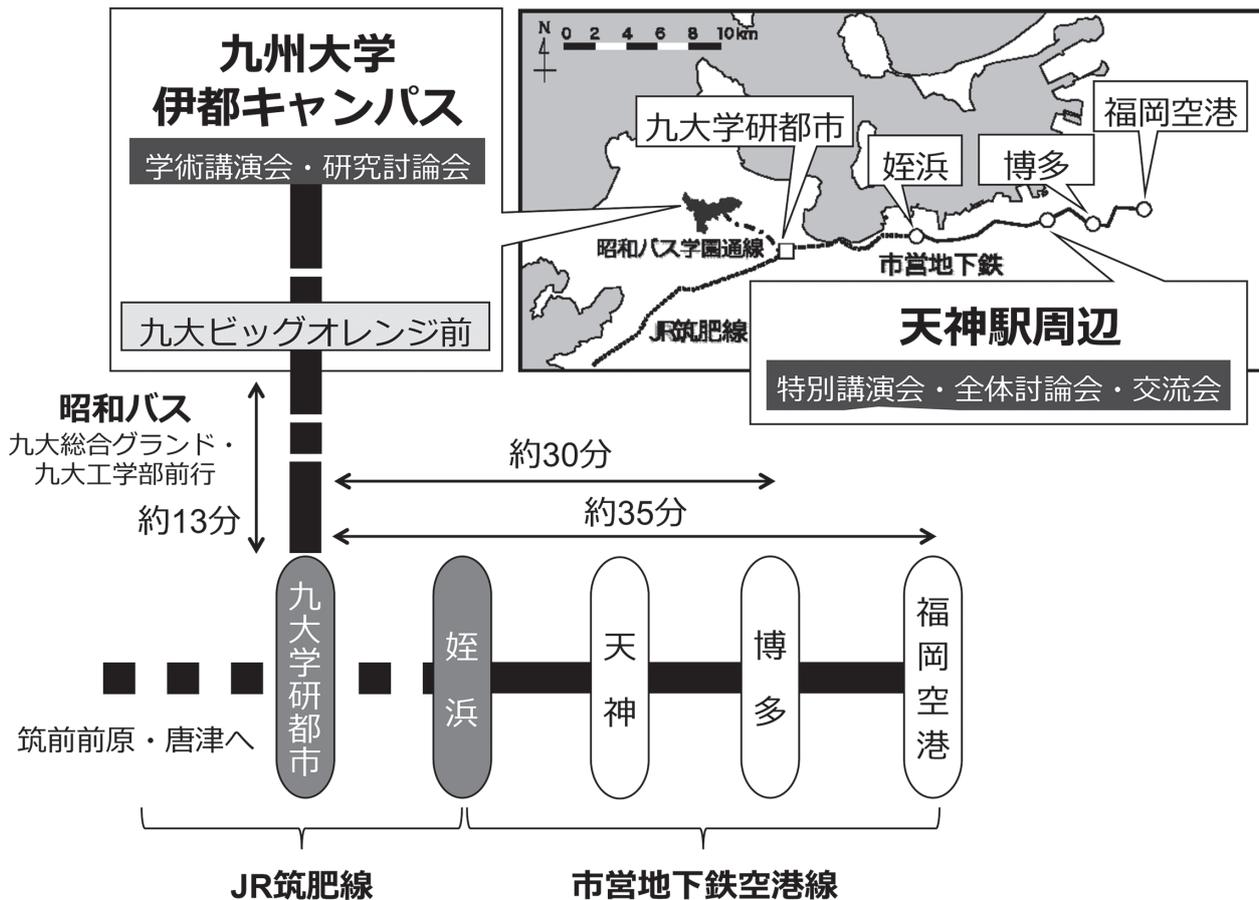
[パネリスト] **松永 千晶** MATSUNAGA Chiaki
九州大学大学院 工学研究院 助教

博士(工学)。九州大学工学部建設都市工学科卒業、同大学院工学研究科都市環境システム工学専攻修了、2000年4月より同大学院工学研究院環境都市部門助手、2004年8月よりParisTech (Ecole Nationale des Ponts et Chaussées, Ecole Polytechnique, Ecole Nationale Supérieure des Mines de Paris) 修士課程にて交通と持続可能な開発について学び、翌年12月同課程修士号(科学)取得。2006年1月より九州大学大学院工学研究院環境都市部門(現 環境社会部門) 助教、現在に至る。専門は交通計画学。現在は新国富指標を用いた都市の政策やインフラ整備の評価にも取り組んでいる。

全国大会会場案内・大会行事

■ 会場所在地・アクセス





九州大学伊都キャンパス
(第72回年次学術講演会、研究討論会)
〒819-0395 福岡市西区元岡744

◇ JR博多駅から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→姪浜駅からJR筑肥線、九大学研都市駅にて下車。

※西唐津行き、筑前前原行きに乘車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要。

昭和バス「九大総合グラウンド・九大工学部前行」、九大ビッグオレンジ前にて下車。

所要時間：約50分

◇ 福岡空港から

地下鉄「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→姪浜からJR筑肥線、九大学研都市駅にて下車。

※西唐津行き、筑前前原行きに乘車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要。

昭和バス「九大総合グラウンド・九大工学部前行」、九大ビッグオレンジ前にて下車。

所要時間：約1時間

アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
(特別講演会・全体討論会)
〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1

◇ 九州大学伊都キャンパスから

昭和バス「九大学研都市駅行」、九大学研都市駅にて下車。

JR筑肥線「福岡空港」行→地下鉄空港線「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」16番出口から徒歩3分。

◇ JR博多駅・福岡空港から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」16番出口から徒歩3分。

ソラリアプラザ1F イベントスペース (ゼファ)
(パネル展示)

〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目2-43

◇ 九州大学伊都キャンパスから

昭和バス「九大学研都市駅行」、九大学研都市駅にて

下車。

JR筑肥線「福岡空港」行→地下鉄空港線「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」6番出口から徒歩4分。

◇ JR博多駅・福岡空港から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」番出口から徒歩4分。

ソラリア西鉄ホテル
(交流会)

〒810-0001 福岡市中央区天神2-2-43

◇ 九州大学伊都キャンパスから

昭和バス「九大学研都市駅行」、九大学研都市駅前にて下車。

JR筑肥線「福岡空港」行→地下鉄空港線「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」6番出口から徒歩3分。

◇ JR博多駅・福岡空港から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」6番出口から徒歩3分。

お問い合わせ

◇ 土木学会 全国大会委員会事務局

総務課 TEL: 03-3355-3442

◇ 平成29年度土木学会全国大会実行委員会事務局

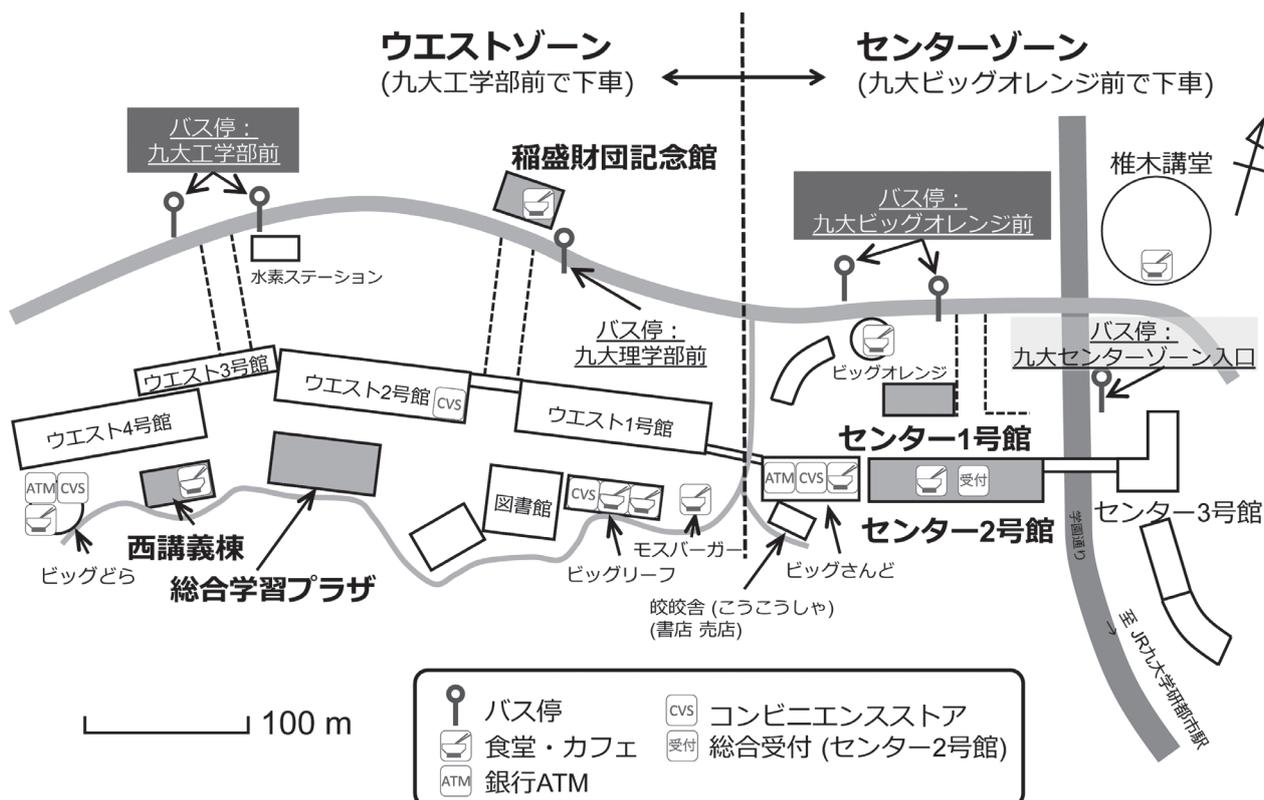
西部支部 TEL: 092-717-6031

(一時保育に関する問い合わせは、西部支部へお願いします。)

大会ホームページ

<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>

■ 九州大学伊都キャンパス会場図



■ 行事案内

(1) 基調講演会

9月12日(火) 13:50～14:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

会長講演「土木の「領域」を再考し、主張ある土木を構築しよう」

土木学会 会長 大石 久和 (一般社団法人 全日本建設技術協会 会長)

【会場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

(2) 特別講演会

9月12日(火) 14:45～15:45、17:50～18:20 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

特別講演1 (14:45～15:45)

「ともに生きるための公共事業 —フレンチ・エンジニアの「社会経済」思想」

栗田 啓子 (東京女子大学 教授)

特別講演2 (17:50～18:20)

「九州から日本を動かす！」

麻生 泰 (一般社団法人 九州経済連合会 会長)

【会場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

(3) 全体討論会

9月12日(火) 16:05～17:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

テーマ「土木と公共、地域と世界の観点から」

コーディネーター 塚原 健一 (九州大学大学院 工学研究院附属アジア防災センター 教授)

パネリスト 米良 充典 (宮崎県商工会議所連合会 会頭)、濱崎 隆 (一般社団法人九州観光推進機構 九州観光広報センター 次長)

村川 友美 ((株)River Village. 代表取締役)、松永 千晶 (九州大学大学院工学研究院 助教)

【会場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

(4) 第72回年次学術講演会

9月11日(月)～13日(水) 九州大学伊都キャンパス

9月11日(月) 9:00～10:20、10:40～12:00、15:20～16:40、17:00～18:20

9月12日(火) 9:00～10:20、 10:40～12:00
9月13日(水) 9:00～10:20、 10:40～12:00、 15:20～16:40

(5) 研究討論会

9月11日(月)、13日(水) 九州大学伊都キャンパス

9月11日(月) 13:00～15:00
9月13日(水) 13:00～15:00

(6) 交流会

9月12日(火) 19:00～20:30 ソラリア西鉄ホテル

【会場】ソラリア西鉄ホテル 8階「彩雲」

【参加費】事前申込み：(一般) 6,000円、(学生) 2,000円〔事前申込み期日：8月31日〕

当日申込み：(一般) 7,000円、(学生) 2,000円

※申し込みは、本付属の xxii ページまたは大会情報ホームページ(交流会)をご覧ください。

大会情報ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>

(7) International Programs (国際関連行事)

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. Please take this opportunity to share ideas and opinions with engineering professionals from around the world.

国際関連行事として、期間中に英語による以下の行事を実施いたします。ふるってご参加ください。

○ Venues : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center, Big Sando and others)

(会場：九州大学伊都キャンパス(稲盛財団記念館、ビッグさんど他))

1. International Roundtable Meeting (ラウンドテーブルミーティング)

Implementing ICTs within the Construction Industry

「土木へのICT、IoT技術の導入：各国の取組み事例と課題、将来へのメッセージ」

Date : September 11 (Mon)

Time : 14:00 ~ 17:00

Venue : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center) (会場：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館)

2. The 19th International Summer Symposium (第19回インターナショナルサマーシンポジウム)

Date : September 11 (Mon) - 12 (Tues)

Time : 9:00 ~ 12:00

Venue : Kyushu University Ito Campus (会場 : 九州大学伊都キャンパス)

3. International Workshop for Young Engineers (国際若手技術者ワークショップ)

Theme : Innovative Construction Methods- a Case of Cut-and Cover Tunneling Method

「革新的新工法 WS - 開削トンネル工法を例に」

Date : September 11 (Mon)

Time : 13:30 ~ 17:30

Venue : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center) (会場 : 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館)

4. IAC Networking Reception

Date : September 11 (Mon)

Time : 17:30 ~ 19:30

Venue : Kyushu University Ito Campus (Big Sando) (会場 : 九州大学伊都キャンパス ビッグさんど)

5. The 11th International Symposium on Disaster Risk Management

co-hosted by WFEO, JFES, JSCE and AIJ

Date : September 13 (Wed)

Time : 9:00 ~ 13:00

Venue : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center) (会場 : 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館)

For further details, please visit the JSCE IAC website:

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

詳細については、土木学会国際センターのホームページをご覧ください。

皆様の御参加を御待ちしております。

(8) 映画会

9月11日(月)～13日(水) 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館

9月11日(月) 平成28年度土木学会映画コンクール受賞作品と最近の土木学会選定映像

- 13:00 開会挨拶 土木技術映像委員会
- 13:05 新しい河(中川改修事業)(44分)
- 13:50 小湊鐵道 建設作業(無声映画)(12分)
- 14:02 「日比谷279米 地下鉄工事記録 —帝都高速度交通営団 地下鉄2号線 日比谷一工区建設記録—」(58分)
- 15:00 8ミニッツ ～鎌倉で津波から生きのびる(15分)
- 15:15 休憩(5分)
- 15:20 平成28年度映画コンクール最優秀賞作品(60分)
- 16:20 第1日目 終了

9月12日(火) 特集 九州の土木技術映像

- 10:00 挨拶 土木技術映像委員会
10:03 大規模地下空洞掘削工事に挑む！—九州電力小丸川発電所(9分)
10:12 地域の安全を守る—水無川1号砂防ダムの記録—(24分)
10:36 松原・下笠^{しもがけ}ダム建設記録 総集編(42分)
11:18 苦闘 海底破碎帯突破—新関門トンネル建設の記録—(25分)
11:43 第2日目 終了

9月13日(水) 特集 土木遺産の記録

- 09:30 挨拶 土木技術映像委員会
09:33 余部橋りょう さらなる100年へ(20分)
09:53 石を架ける—石橋文化を築いた人びと—(39分)
10:32 海峡をつないだ技術—関門鉄道トンネル開通までの歩み—(34分)
11:06 石橋のふるさと—肥後の石工を訪ねて(16分)
11:22 第3日目 終了

(9) パネル展示

9月11日(月)～13日(水) ソラリアプラザ1F イベントスペース(ゼファ)

主催：土木学会西部支部全国大会実行委員会

- ・テーマ 「九州の土木～その過去・現在・未来と世界的課題への挑戦～」
- ・内容 ①九州の土木遺産と最近のトピックス
②九州の土木 世界へ
③熊本地震と復興

【日時】9月11日(月)～13日(水) 10:00～19:00

【会場】ソラリアプラザ1F イベントスペース(ゼファ)

【入場料】無料(一般参加可能)

(10) 見学会

No.	コース名	日時	参加費	定員
①	1日コース 上西郷川 里川の再生(2016年土木学会デザイン賞) 官営八幡製鐵所 旧本事務所(世界遺産) 河内(貯水池) 堰堤及び南河内橋(選奨土木遺産) 他	9月13日(水) 8:30～17:30	3,800円 昼食・保険・税込み	40名
②	半日コース 博多港港湾施設 今津元寇防塁 他	9月11日(月) 13:00～17:30	2,000円 保険・税込み	40名

お申込みについて本付録のxxページを、詳細については大会情報ホームページ(見学会)をそれぞれご覧ください。

平成29年度全国大会に係わるCPD単位の詳細については、技術推進機構ホームページ(http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd/01_2017zenkoku)をご覧ください

(11) アンサンブルシヴィル演奏

9月12日(火) 13:15 ~ 13:40 (13:45より講演会・討論会)

【会場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

■ 一時保育のご紹介

申し込みは、大会情報ホームページをご覧ください。

■ 九州大学伊都キャンパス会場でのインターネット接続

学会期間中、九州大学伊都キャンパスで使用できるゲスト用アカウントを総合受付にてご案内します。

なお、特別講演会・全体討論会および交流会の会場では、提供の無線LANは使用できません。

年次学術講演会講演要領

■ 講演会発表の進め方

- 1) 各セッションの運営は、座長に一任されています。
- 2) 座長と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、座長より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、それを遵守してください。
- 3) 発表時間は原則として、入退場も含めて7分です。7分以内に発表が完了できるように、準備をお願いします。
- 4) パソコン・液晶プロジェクターは各発表会場に用意されますので、それらを使用して発表を行ってください。なお、パソコンの操作は講演者自身で行ってください(会場担当係では対応しかねますのでご了承ください)。
- 5) 発表用ファイルは、USBメモリもしくはCD-ROMに保存して発表会場へご持参ください。セッション開始前に各会場に準備されたパソコンにコピーしていただきます。
- 6) 発表では、会場設置のパソコンを使用していただきます。次の「演題発表に関わる注意事項」を必ず確認・遵守してください。

General Instructions for Presenters

- 1) The responsibility for organizing the sessions lies with the session chair of that session.
- 2) A short briefing will be held before each session begins. The session chair will provide information about the order of presentations, the time allotment for presentation and discussion, etc.
- 3) Each presentation has been allotted 7 minutes, including the time required for changeover. Be sure that you finish your presentation within 7 minutes.

- 4) The laptop computer and LCD projector provided in each session room are to be used for all presentations. Each speaker is responsible for operating the computer during their presentation; this is not the responsibility of the technical staff in the session rooms.
- 5) Before your session begins, copy your presentation file onto the provided computer in the session room.
- 6) All speakers are required to use the provided computer for their presentation. Follow the further instructions in “Guide for Slide Presentation”.

演題発表に関わる注意事項（重要）

1. 発表スライドの準備

- 1) 発表者は、パワーポイントなどの発表用ファイル(5)で指定したOSで読み取れるフォーマットのUSBメモリもしくはCD-ROM(ファイナライズされたもの)に保存してご持参ください。他のメディアは利用できません。
 - 2) メディア・ファイルのウイルスチェックを必ず事前に実施してください。
 - 3) ファイルサイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も100MB以下を厳守してください。
 - 4) 発表用ファイルの名前は、演題番号としてください。(例えば、II部門の演題番号138の場合は、“II138.pptx”などとなります。)
 - 5) パソコンと液晶プロジェクターは講演会会場設置のものを必ずご利用いただきます。会場のパソコンのOSはWindows 7です。インストールされているソフトは、MS Office2016 (Excel, Word, PowerPoint)、Media Player 12及びDVDマルチドライブ、USBマウスです。なお、フォント種については講演者の環境とは異なる可能性もありますのでご注意ください。
- ※前項のソフトウェア以外の特別なものを講演で必要とする等のため、講演者ご持参のパソコンを使わざるを得ない場合は、当日、座長の許可を得たうえでそのセッションの最後の順番で発表していただきます。時間が限られているため、ケーブルの盛り替えは当該発表者自身が発表時間内に行っていただきます。討議は発表直後に行っていただき、討議が終了したら速やかに会場設置のパソコンと取り換えてください。ケーブル端子はミニD-sub 15pin (HD15pin) です。

2. 発表の際の留意事項

- 1) 発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に入室してください。遅れると発表できない場合があります。
- 2) 必ずセッション開始前に、持参した発表用ファイルを会場設置のコンピューターにコピーしてください。
- 3) 発表者の方は、発表セッションでは会場前方の席にて待機してください。
- 4) トラブル等により発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 5) 各会場には、レーザーポインタが用意されていますので、ご使用ください。
- 6) 発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除します。

Guide for Slide Presentation

1. Preparing Slides

- 1) Bring your presentation file on a USB memory stick or CD-R to your session. Do not use any other form of digital media. Make sure that your digital media and presentation file are readable by the computer system indicated in the following section, 5).
- 2) Please scan your digital media and presentation file with antivirus software prior to the session, and make sure that they have no virus infection.

- 3) Preferably, the size of your presentation file should not exceed 20 MB, and must not exceed 100 MB.
 - 4) Name your presentation file with the number assigned to your presentation. For example, the file name would be "II138.pptx", if your presentation number is 138 of Division II.
 - 5) All speakers are required to use the laptop computer and LCD projector provided in the session room. The operation system of the provided computers is Windows 7. The following software are available:
MS Office2016, DVD Multi and Windows Media Player 12. Note that font options available on the provided computer might differ from those used when you created your presentation file.
- ※ If it is absolutely necessary that you use your own computer in order to use software and/or computer specifications besides those listed above, ask the chairperson for permission before the session starts. If this is permitted, your presentation may be rescheduled to the last slot of the session. Please promptly switch computers within the allotted presentation time, and restore the connection of the provided computer immediately after the end of your presentation and discussion. The provided computer is connected to the LCD projector via a cable terminal with mini D-sub 15pin (HD15pin).

2. In Session

- 1) Please arrive at your session room at least 10 minutes before the session starts. Failure to do so may result in the cancellation of your presentation.
- 2) Copy your presentation file to the computer provided in the session room before the beginning of the session.
- 3) Please seat yourself close to the front of the session room before your presentation.
- 4) The order of presentations in the session may be changed in the event of unexpected technical trouble.
- 5) A laser pointer is provided in all the session rooms.
- 6) After the session, your presentation file will be deleted by technical staff in the session room.

■ ウィルス対策について

会場内に設置した全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、発表の際に使用したメディアは、お持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウィルスチェックをしていただくようお願い致します。ウィルス感染に関する責任は学会として負いかねますので、各自の責任で会場内のパソコンをご利用ください。

Preventive Measures against Computer Virus

Antivirus software is installed in all computers provided in the session rooms. However, we strongly request all session speakers to rescan their digital media with an antivirus software after their session presentation prior to connecting the media to their computer. JSCE disclaims any responsibility for any damage to computer systems due to the use of computers provided in the session rooms and consequential virus infection.

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。

この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。

今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待いたします。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

1. 表彰の目的

土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し、

- ①論文内容、講演技術の向上に寄与する。
- ②若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。
- ③全国大会全体の活性化に貢献する。

などを目的とする。

2. 名称

この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

3. 対象者

- 全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
- 講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
- ポスターセッションは対象外とする。

4. 選出方法

- 各セッションの座長（司会者）は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者1名を推薦する。
- 本部事務局（全国大会実行委員会事務局）にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の2分の1の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の2分の1の人数を超えるときには、合計得点と同じ被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2分の1を超えない人数に調整する。

5. 表彰

- 土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
- 後日、個人あてに表彰状を送付する。
- 表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

6. その他

- この規定は、1995年度全国大会から施行する。
- 本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則（平成7年3月24日理事会了承）

（平成8年6月18日一部改正）

申込について

■ 事前登録参加申込み(聴講)

全国大会(年次学術講演会、研究討論会)に聴講者として参加する方は、以下の内容に従って参加申込み手続きをして下さい。**講演申込者(登壇者)は改めて申込む必要はありません。連名者は登録申込が必要です。**

- 参加登録者には参加証とDVD版講演概要集を配布(8月中旬)します。
- 申込みは、本ページをコピーし、以下の様式に御記入のうえ、FAXにて手続きして下さい。
- 受付期日：平成29年6月12日(月)～7月31日(月)
受付期日終了後は事前の受付けを致しませんので、当日会場にて手続きして下さい。
- 登録参加料の支払：郵便局備付の郵便振替用紙を使用し、申込締切日までに振込口座にお支払のうえ、登録参加申込書に払込票兼受領書のコピーを添付して下さい。なお、登録参加料振込み後の返金はできません。

郵便振替の振込先	口座記号番号	00180 - 2 - 900773
	加入者名	公益社団法人土木学会全国大会

5. 登録参加申込書の送付先：〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)
公益社団法人土木学会事務局 全国大会係 FAX：03-5379-0125 / E-mail：office2@jsce.or.jp

◆ 第72回年次学術講演会 登録参加(聴講)申込書 ◆ (平成29年度)

(FAX番号：03-5379-0125)

FAXの場合、送信票(表紙)はつけなくて発信して下さい。

《事前申込期間 平成29年6月12日(月)～7月31日(月)》

フリガナ 聴講(参加)申込者氏名	土木学会 個人会員番号	▼該当する欄に○印をつけて下さい。			
		正会員(個人) 10,000円	学生会員 7,000円	非会員 20,000円	学生非会員 10,000円
合計人数	名	払込合計金額 (振込手数料はご負担下さい。)		円	
払込日	月 日				
通信欄：払込済み郵便振替受領証の縮小コピーを必ずこの欄にのり付けてご提出下さい。					
郵便振替口座：口座記号番号：00180 - 2 - 900773 加入者名：公益社団法人 土木学会 全国大会 ※振替用紙の通信欄に聴講料とご記入下さい。 ※会員価格は正会員(個人)に限ります。法人会員の方は非会員扱いとなります。					

講演概要集の形式

DVD形式 WEBからのダウンロード形式 ※いずれかにチェックを入れて下さい。チェックのない場合はWEBからのダウンロードとなります。

DVD版概要集・参加証送付先

送付先 勤務先 自宅 ※勤務先またはご自宅のいずれかにチェックを入れてください

氏名

住所及び TEL

〒 -

TEL : FAX : E-mail :

勤務先名・部署等
(ご自宅送付の場合
はご記入不要)

■ 第72回年次学術講演会 DVD-ROM版概要集一般申込方法

FAX : 03-5379-0125
E-mail : office2@jsce.or.jp

講演概要集は、DVD-ROM化し、登録参加申込をされた方全員にDVD-ROM版概要集を配布致します。このDVD-ROMには全部門の論文が掲載されています。大会に参加されない方で、DVD-ROM版講演概要集が必要な方は、この申込み方法に従って、申込み手続きをして下さい。

申込方法：申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX(03-5379-0125)にてお申込み下さい。

9月下旬に請求書と共にDVD-ROMをお送りさせていただきます。

申 込 先：公益社団法人 土木学会 全国大会DVD-ROM係
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)
TEL：03-3355-3442 / FAX：03-5379-0125

なお過去のDVD-ROM版概要集をご希望の方は上記申込先にお問い合わせ下さい。(残部少、単価10,000円)

第72回年次学術講演会 DVD-ROM版概要集一般申込書
(平成29年度全国大会)

申込日：平成 年 月 日

申込者	氏 名				
	会員番号	□	□	□	□
	勤務先／学校の名称				
DVD-ROM 送付先	住 所				
	氏 名				
	電 話				
	FAX				
請求書の名義					
DVD-ROM版概要集申込数量	単 価	部 数	金 額(円)	備 考	
	@ 10,000 円			単価は税込み、送料込み(国内の場合)価格です。	

通信欄

■ 交流会への参加申込み

1. 大会情報ホームページにて事前申込みを承ります。
事前申込みは、8月31日までにお願いします。
大会情報ホームページ（交流会）：<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>
2. 大会情報ホームページからクレジットカード決済でお願いします。
※領収書は、交流会当日に交流会受付にてお渡し致します。
3. 当日受付の場合は、現金のみとさせていただきます。
4. 問合せ先：(株)近畿日本ツーリスト九州 福岡支店 (fukuoka@or.kntk.co.jp)
5. 定員に達した場合には、ご遠慮頂く場合があります。

■ 見学会への参加申込み

1. 申込み方法：大会情報ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>) にて予約を承ります。
2. 支払い方法：クレジットカード決済でお願いします。
※領収書は、見学会当日のバス乗車時にお渡し致します。
3. 問合せ先：(株)近畿日本ツーリスト九州 福岡支店 (fukuoka@or.kntk.co.jp)
4. 申込み締切：8月31日（木）
5. 予約の取消し：
 - 取消しのご連絡は、(株)近畿日本ツーリスト九州 福岡支店 (fukuoka@or.kntk.co.jp) にお問い合わせ致します。メール本文には、申込者の氏名、住所、電話番号、メールアドレスを必ずご記入下さい。
 - 返金について
(株)近畿日本ツーリスト九州のキャンセルポリシーに準じます。※詳細につきましては、大会情報ホームページ(見学会)をご覧ください。

※今大会においては、学会・実行委員会を通じての宿泊施設の紹介・手配等を行いません。大会参加のためのご宿泊の手配は、各自で行っていただくようお願いします。

※個人情報の取扱いについて

入力いただくお客様の個人情報は、当該サービスに関しお客様との連絡に利用させていただくほか、お申込みいただいた当該サービスの手続きに必要な範囲内で、利用施設等の第三者にお客様の個人情報を提供いたします。なお、お申し込みの際は、ご予約画面にある「個人情報の取り扱いについて」を必ずご確認下さい。